

指導内容系統整理表 <小学校>

<別紙>

【歌唱】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
小学校	第1・2学年	ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲想を感じ取って表現を工夫し 、どのように歌うかについて思いをもつこと。
	第3・4学年	ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲の特徴を捉えた表現を工夫し 、どのように歌うかについて思いや 意図 をもつこと。
	第5・6学年	ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し 、どのように歌うかについて思いや 意図 をもつこと。

イ「知識」	ウ「技能」				
		曲想／音楽の構造・歌詞	聴唱、模唱、視唱	発声、身体の使い方	他者との調和
イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて 気付くこと 。	ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(7)から(9)までの技能を身に付けること。 (7) 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能	(1) 自分の歌声及び発音 に気を付けて歌う技能	(9) 互いの歌声や伴奏 を聞いて、声を合わせて歌う技能		
イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて 気付くこと 。	ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(7)から(9)までの技能を身に付けること。 (7) 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能	(1) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、 歌い方 で歌う技能	(9) 互いの歌声や副次的な旋律 、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能		
イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて 理解すること 。	ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(7)から(9)までの技能を身に付けること。 (7) 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能	(1) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、 響きのある歌い方 で歌う技能	(9) 各声部の歌声や全体の響き 、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能		

【器楽】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」
小学校	第1・2学年	ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲想を感じ取って表現を工夫し 、どのように演奏するかについて思いをもつこと。
	第3・4学年	ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲の特徴を捉えた表現を工夫し 、どのように演奏するかについて思いや 意図 をもつこと。
	第5・6学年	ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し 、どのように演奏するかについて思いや 意図 をもつこと。

イ「知識」	ウ「技能」				他者との調和
		曲想／音楽の構造	楽器の音色／奏法	聴奏、模奏、視奏	
イ 次の(7)及び(1)について 気付くこと 。 (7) 曲想と音楽の構造との関わり	ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(7)から(9)までの技能を身に付けること。 (7) 範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わり	(1) 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能	(9) 互いの楽器の音や伴奏 を聞いて、音を合わせて演奏する技能	
イ 次の(7)及び(1)について 気付くこと 。 (7) 曲想と音楽の構造との関わり	ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(7)から(9)までの技能を身に付けること。 (7) 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能	(1) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり	(1) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能	(9) 互いの楽器の音や副次的な旋律 、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能	
イ 次の(7)及び(1)について 理解すること 。 (7) 曲想と音楽の構造との関わり	ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(7)から(9)までの技能を身に付けること。 (7) 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能	(1) 多様な楽器の音色や響き と演奏の仕方との関わり	(1) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能	(9) 各声部の楽器の音や全体の響き 、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能	

【音楽づくり】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」		ウ「技能」
			音素材・組合せ	水平・垂直	
小学校	第1・2学年	ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりながら、次の(7)及び(1) (7) 遊びを通して 、音楽づくりの発想を得ること。	イ 次の(7)及び(1)について、それらが生み出す面白さなどを関わらせて 気付くこと 。 (7) 声や身の回りの様々な音 の特徴	ウ 発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な次の(7)及び(1) (7) 設定した条件に基づいて 、即興的に 音楽の仕組み を用いて、 簡単な音楽 を 選んだりつなげたり して表現する技能	
	第3・4学年	ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりながら、次の(7)及び(1) (7) 即興的に表現すること を通して、音楽づくりの発想を得ること。	イ 次の(7)及び(1)について、それらが生み出すよさや面白さなどを関わらせて 気付くこと 。 (7) いろいろな音の響きやそれらの組合せ の特徴	ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(7) (7) 設定した条件に基づいて 、即興的に 音楽の仕組み を用いて、 音楽をつくる技能	
	第5・6学年	ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりながら、次の(7)及び(1) (7) 即興的に表現すること を通して、音楽づくりの 様々な発想 を得ること。	イ 次の(7)及び(1)について、それらが生み出すよさや面白さなどを関わらせて 理解すること 。 (7) いろいろな音の響きやそれらの組合せ の特徴	ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(7) (7) 設定した条件に基づいて 、即興的に 音楽の仕組み を用いて、 音楽をつくる技能	

【鑑賞】

校種	学年等	ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」	
			評価とその根拠	曲想／音楽の構造
小学校	第1・2学年	ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりながら、曲や演奏の 楽しさ を見いだし、曲全体を味わって 聴くこと 。	イ 曲想と音楽の構造との関わりについて 気付くこと 。	背景、他の芸術との関わり
	第3・4学年	ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりながら、曲や演奏の よさ などを見いだし、曲全体を味わって 聴くこと 。	イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて 気付くこと 。	
	第5・6学年	ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりながら、曲や演奏の よさ などを見いだし、曲全体を味わって 聴くこと 。	イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて 理解すること 。	

〈共通事項〉

ア「思考力、判断力、表現力等」	イ「知識」
「A表現」と「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
ア 音楽を形づくっている要素を聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこと感じ取ったこととの関わりについて考える。	イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わりについて理解すること。